

授業科目	看護学特論				実務家教員担当科目	○					
単位	1	履修	選択	開講年次	4	開講時期	後期				
担当教員	金山 正子、杉浦 絹子、樋口 由貴子、原 頼子、高橋 甲枝、溝部 昌子、石井 美紀代、前田 由紀子										
授業概要	看護は社会と生活者として暮らしている人々の健康に大きく関与する学問領域である。 社会環境の変化によって大きく変わっていく看護ニーズをそれぞれの看護学領域を超えて解説し、現在の課題とこれからの看護の展望について投げかけ、考察をしていく。 以上のことについて、実務家教員として臨床での実務経験を有する教員が教授する。										
授業形態	講義・演習		授業方法	グループワーク、ディスカッション Classroomを活用							
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1. 看護の現状について説明できる。(DP3-1) 2. 各領域が求めている看護ニーズについて述べるができる。(DP3-1) 3. 社会の変化における看護の役割と責務について述べるができる。(DP4-3) 4. 看護の将来展望について述べるができる。(DP3-1)(DP4-3) 目標の内容を総合的に理解し、看護の専門性と領域における課題について70~80%は述べるができる。										
理想的レベル	目標の内容を総合的に理解し、各看護領域を超えた社会における看護の現状を把握し、現在の課題と将来を見据えた看護の展望について述べるができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合(数値)			備考							
試験											
小テスト	70%			各講義で担当教員により指示する							
レポート	30%			課題は教員により提示する							
発表(口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	-	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU31409J
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安 (時間)	
学習課題(予習・復習)										4	
授業計画											
第1回	テーマ：授業概要と進め方の説明 ・看護実践と看護倫理について考える (金山)										
第2回	テーマ：小児看護学領域 ・小児医療の現状と課題 ・これからの小児看護を考える (樋口)										

第3回	<p>テーマ：母性看護学領域</p> <p>・今日の社会状況下において母性看護学分野に求められる看護ニーズと課題並びに今後の展望 (杉浦)</p>
第4回	<p>テーマ：成人看護領域 急性期の看護</p> <p>・看護師に求められる検査(画像)の知識 (高橋)</p>
第5回	<p>テーマ：老年看護学領域</p> <p>高齢者の健康づくりと運動</p> <p>運動がもたらす人体への影響-呼吸・循環・骨格筋、深部静脈血栓症と予防</p> <p>ピラティス・ヨガの歴史と効果、ピラティスの実践 (溝部)</p>
第6回	<p>テーマ：精神看護学領域</p> <p>・オープンダイアログ、読むODの活用</p> <p>・精神科看護の課題 (前田)</p>
第7回	<p>テーマ：在宅看護学領域</p> <p>・国の「医療と介護の一体的な改革」で在宅医療・介護がどう変わるのか、在宅看護のあり方 (石井)</p>
第8回	<p>テーマ：成人看護領域</p> <p>・看護の現状と今後の展望 (原)</p>
テキスト	特に指定はありません。これまで学んだテキストを参考にして下さい。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>担当教員より参考図書等の紹介が随時あります。</p> <p>講義では、資料プリントを配布します。</p>
課題に対するフィードバックの方法	課題達成については成績発表後に評価点分布図を提示します。
学生へのメッセージ・コメント	<p>これまで学んだ、専門教育科目を基盤に看護実践の統合を目指します。既習の学びを想起し、主体的に取り組む姿勢で臨んでください。</p> <p>4年生後期の選択科目です。各看護学領域の現状を知り将来を展望することにより、看護の実践者として、自己研鑽することを期待します。</p> <p>基盤となる基礎的な知識だけでなく、健康に関する社会の現状と課題について学ぶことにより看護が深まります。</p>

